

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」

努力はたし算、協力はかけ算



明日から10月になります。そして七小体育の日まで、残り3週間を切りました。先週から特別時間割も始まり、毎日のように学年での練習をしている声が聞こえてくるようになりました。

今日は、「努力」と「協力」についてお話します。「努力しましょう」「協力しましょう」とよく言われることがあるかもしれませんが、違いはどこにあるのでしょうか。

例えば、一人の人が毎日、漢字を1つずつ覚えていったとします。1日目は1つ、2日目には1つ+1つで2つ、3日目には1つ+1つ+1つで3つと、努力したことは毎日足し算として積み上げられていきます。

その努力をしている人が集まるとどうなるでしょう。頑張っている人を見ると自分も頑張ろうと思えるようになります。すると相手もさらに頑張ろうと努力をし、そこに協力が生まれます。協力し合うことで大きな力となります。これを相乗効果と言います。相乗効果の「相」とは、「一緒に」とか「お互いに」という意味です。そして「乗」とは、「かけ算」を意味します。ですから、1つ努力している人が2人集まると、1日目は 1×1 で1ですが、2日目には 2×2 で4、3日目には 3×3 で9と、どんどん大きくなっていきます。これが、3人になると、1日目は $1 \times 1 \times 1$ で1ですが、2日目には $2 \times 2 \times 2$ で8、3日目には $3 \times 3 \times 3$ で27と、非常に大きな力となっていきます。協力する人が4人、5人と増えると、もう数えきれない数になりますね。

努力は自分が一人でたし算のように積み重ねていきますが、努力している人同士が協力すると、かけ算のように大きな数、大きな力となっていきます。低学年の皆さんには少し難しいかもしれませんが、「努力はたし算、協力はかけ算」と言って、コツコツ努力をしたことは確実にたし算として積み上がり、協力すればかけ算として大きな力となるというお話です。

今は、七小体育の日に向けてダンスや組体操など、毎日練習をしていることと思います。始めは上手にできなかったことも、努力を続けることで必ずできるようになります。そして、各クラスのリーダーを中心に、友達と一緒に練習したり、教え合ったりすることで、一人で練習するよりもすぐに上達したり、思った以上にできることが増えるはずです。一人一人が自分のやることを努力し、友達と協力しながら、大成功の七小体育の日にしていきましょう。